

公開セミナー 「デジタルデンチャーの現状と未来」 - 有床義歯のデジタル化はどう進む -

配信期間：令和7年11月3日～12月1日

※視聴後にwebアンケートのご協力をお願い致します。

参加方法：web 動画配信 参加対象者：歯科技工士、歯科医師、歯科衛生士 他
※下部QRコードより

概要

2014年のCAD/CAM冠導入以降、歯冠修復や口腔インプラント上部構造の歯科技工のデジタル化は加速度をもって進ん

できました。一方で、有床義歯の歯科技工のデジタル化はどのようになり、どのようにになっていくのでしょうか。デジタル化によって進んできた歯科技工士の働き方改革も、有床義歯分野のデジタル化の問題を抜きに語ることでできないように思います。

そこで、本年は有床義歯のデジタル化にスポットをあて、デジタル化が進んでいる有床義歯の分野で、著名な活動をされている山崎史晃先生をお迎えし、基調講演をお願いしました。

講演の終了後には基調講演の山崎先生を含め、パネリストの方々に、歯科技工特に有床義歯のデジタル化に伴い、歯科技工の効率化ならびにワークシェアが今後の歯科技工の未来をどのように変っていくのかがいいのかなど、パネルディスカッション形式で議論を進めたいと思います。

歯科技工士の人材確保に向けた、新たな時代の歯科技工士像について有意義なディスカッションができることを期待しておりますとともに、多くの皆様の参加をお待ちします。

基調講演 ①

「歯科技工のデジタル化の現状と未来」
- 複製義歯の活用 -



佐藤 博信
九州歯科技工専門学校 校長

基調講演 ②

「様々なことが可能になってきた
デジタルデンチャー」
- 複製義歯の活用 -



山崎 史晃
やまさき歯科医院 院長



YouTube視聴は
こちらから▶▶



アンケート回答は
こちらから▶▶



主 催：九州歯科技工専門学校 ・ （一社）沖縄県歯科医師会

お問合せ先：九州歯科技工専門学校 / ✉info@kyushigi.ac.jp

九州歯科技工専門学校



webサイト